



PHRサービス事業協会

PSBAの独自性・中期ビジョン

2024年6月25日
運営・管理委員会

PSBAの独自性

独自性を中核の強みとした活動を目指す

□ 民間事業者が主導する国内初のPHR事業者団体

□ 多様なデータリソースを検討のスコープとしている

□ 会員の多様性（医療活用に関じない幅広い事業モデル）

- PHRに特化した団体では、国内最大規模の民間事業者団体（130を超える事業者が集結）。
- 医薬品、薬局、医療機器・デバイス、情報通信、ソフトウェア、アプリ開発、データ解析、食品・飲料、商社、広告、保険、印刷、フィットネス、寝具、化学、住宅、エンタメなど、各業界の最大手企業からスタートアップ企業まで多数参画。

中期ビジョン（Mission・Vision・Value）

設立時の根本原則を定めた会則を源泉にMVVとして中期ビジョンを策定

PSBA 会則 第一章 総則 第2条（目的）

国民が安全かつ簡便にPHRを活用して、個人に最適化された医療やヘルスケアサービスを楽しむことができるよう、情報の可視化や行動変容、医療従事者との共有等の商品・サービスを提供するPHRサービス事業者による団体であり、多様なステークホルダー間の協調を促進し、PHRサービス産業の発展を通じて、国民の健康寿命の延伸や豊かで幸福な生活（Well-being）に貢献することを目的とする。

Mission
社会的使命

- 国民が安全かつ簡便にPHRを活用して、個人に最適化された医療やヘルスケアサービスを楽しむことができること
- 国民の健康寿命の延伸
- 国民の豊かで幸福な生活（Well-being）への貢献

Vision
目指す
将来像

1. PHRサービス産業の発展
2. 多様なステークホルダー間の協調促進

Value
価値観
・指針

- PHRサービス産業の発展に向けた事業環境整備
- 事業創出支援
- 国際競争力の確立
- 医療領域にとどまらない顧客価値創出
- PHRサービス事業者による共創エコシステムの構築

PSBA 会則 第一章 総則 第3条（事業活動）

本会は、前条の目的を達成するために、以下の項目を目指した活動を行う。

1. PHRサービス産業の協調と競争を通じた持続的な発展と国際競争力の確立
2. デジタル技術と科学的知見等を活かした利便性と信頼性の高い顧客価値の創出
3. 幅広い業種によるPHRサービス産業への参画を通じたオープンイノベーションの促進
4. その他本会の目的を達成するために必要な事項

中期ビジョン（重要施策）

Valueを意識しつつ、2つのVisionの実現に向けた重要施策を推進

<Mission・Vision・Value>

Mission
社会的使命

- 国民が安全かつ簡便にPHRを活用して、個人に最適化された医療やヘルスケアサービスを楽しむことができること
- 国民の健康寿命の延伸
- 国民の豊かで幸福な生活（Well-being）への貢献

Vision
目指す
将来像

1. PHRサービス産業の発展
2. 多様なステークホルダー間の協調促進

Vision実現に向けた重要施策

Value
価値観・指針

- PHRサービス産業の発展に向けた事業環境整備
- 事業創出支援
- 国際競争力の確立
- 医療領域にとどまらない顧客価値創出
- PHRサービス事業者による共創エコシステムの構築

<重要施策>

1. PHRサービス産業の発展

- ① **業界自主ガイドラインの策定**（目的・スコープ等の明確化、策定・普及、管理・改定、評価・認証制度等）
- ② **事業ユースケース・ビジネスモデルの創出・蓄積**（類型化、創出に向けた仕組み・枠組み作り、蓄積等）
- ③ **共創エコシステム基盤の構築**（会員間ネットワーキング・ビジネスマッチング等）
- ④ **国際競争力の確保**（PSBAの国際的認知向上等）

2. 多様なステークホルダー間の協調促進

- ① **政策提言プロセスの確立**（会議委員参画、政策提言、規制改革要望等）
- ② **関連団体連携**（PHR関連団体、医療機関・研究機関、産業団体等）
- ③ **広報活動**（対利用者、産業界、メディア等）
- ④ **会員規模、多様性の維持拡大**（会員満足度向上、入会促進等）
- ⑤ **柔軟な組織運営**（課題に応じたWGの設定等）